



HTC Corporation

サプライヤー 行動規範

HTC Corporation サプライヤー行動規範

HTCのサプライヤー行動規範（以下、「本規範」といいます）には、製造サプライヤー（以下「サプライヤー」といいます）に向けて、私たちの企業としての責任の要件を記載します。HTCと取引する条件として、私たちのサプライヤーと次の層のサプライヤーは、これらの要件を認識して実施し、責任ある業務習慣を実現することが求められます。HTCは、こうした要件への準拠を評価し、パートナーを選択するにあたって、これらの要件を満たすためのサプライヤーの進捗状況と継続的なパフォーマンスを考慮します。

本規範に記載された労務、健康と安全、倫理に関する要件は、EICC（Electronic Industry Citizenship Coalition）と国際連合の世界人権宣言の概念と言語に準拠します。本規範の「参照」セクションには、他の参照文書が記載されています。

労務

サプライヤーは、その従業員の人権を守り、国際社会の理解に従って、尊厳と尊敬をもって従業員を処遇する必要があります。これは、臨時労働者、季節労働者、学生、契約社員、正規雇用者など、従業員の種類を問わず、すべての従業員に適用されます。

差別の禁止

サプライヤーは、昇進、報酬、トレーニングへのアクセスなどの人事や採用に関し、人種、肌の色、年齢、性別、性的志向、民族、障害、宗教、政治的信条、労働組合への加入、婚姻区分に基づく差別を行わないものとします。また、従業員や採用応募者に、差別的に用いられる可能性のある医学的な検査や妊娠検査を受けさせることはできません。障害を持つ従業員には、職務を遂行するために必要な、合理的な職務上の配慮を提供するものとします。

公正な処遇

サプライヤーは、ハラスメントのない職場を創出して提供するプロセスを用意するものとします。サプライヤーは、性的ハラスメント、性的虐待、肉体的強制、言葉による虐待、会社が提供する施設への出入りに関する不合理な制限など、過酷な、または非人間的な処遇を従業員に与えたり、こうした処遇を与えると従業員を脅迫することはできません。

児童就労の防止

製造のどの段階においても、児童を労働力として使用することはできません。サプライヤーは、業務を行う国のすべての労働法と規制を遵守し、文書と年齢確認の手順およびすべての工場での記録を維持および更新するものとします。

自由意思による雇用

サプライヤーは、形態を問わず、強制労働、奴隷労働、年季強制労働、または自由意志によらない収容所労働を使用することはできません。すべての労働は自由意志に基づき、労働者は合理的な通知に基づき自由に退職することができます。労働者は、雇用の条件として、政府が発行する証明書、パスポート、または労働許可証を、サプライヤーまたは職業斡旋者に提供する必要はありません。

労働時間

サプライヤーは、最大残業時間を含め、1日および週あたりの労働時間について、現地法を遵守するものとします。各役職の職務明細書と責任に基づく適切な報酬と休暇の方針も提供されなければなりません。労働者には、7日間に少なくとも1日の休みが与えられなければなりません。

賃金と福利

労働者への賃金は、最低賃金、残業時間、法定の福利などを含め、該当するすべての賃金法に準拠するものとします。現地法に基づき、労働者は通常の時間給よりも高い残業代を支払われるものとします。懲罰の手段として賃金を差し引くことは認められません。労働者への支払いの基準は、給与明細または同様の文書によって迅速に提供されるものとします。

結社の自由

サプライヤーは、結社の自由、労働組合への加入または不加入、代理人の指定、現地法に準拠した労働者委員会への加入など、労働者の権利を尊重するものとします。労働者は、職場環境に関して、報復、脅迫、ハラスメントなどを恐れることなく、経営陣と自由に協議できるものとします。

健康と安全

サプライヤーは、業務プロセスに対して安全で健康な作業環境を提供する必要があります。

業務上の安全性

サプライヤーは、職場の化学的、生物学的、物理的な危険物や肉体的に負担の大きな作業、および従業員が使用するインフラストラクチャに関連するリスクから、従業員を保護するものとします。サプライヤーは、職場における健康と安全のリスクを軽減するため、適切なコントロール、安全な作業手順、予防保全、必要な技術的保護手段を提供するものとします。危険物がこれらの手段によって適切にコントロールできない場合、サプライヤーは適切な個人用保護具を従業員に提供するものとします。

緊急時の準備とシステム

サプライヤーは、業務上のけがと病気を監視してレポートするため、緊急時の手順とシステムを策定して実施するものとします。これには、以下が含まれます。緊急時のレポート、従業員への通知と避難の手順、労働者のトレーニングと訓練、適切な火災検知器と消防設備、適切な退出設備と復元計画。

業務上のけがと病気

業務上のけがと病気を予防、管理、記録、レポートするため、手順とシステムを導入するものとします。これには、以下が含まれます。a) 労働者からのレポートを奨励する、b) けがと病気の事例を分類・記録する、c) 必要な医療処置を提供する、d) 原因を取り除くため、事例を調査して、修正アクションを実施する、e) 労働者の職場への復帰を支援する。

肉体的に負担の大きい作業

手による材料の処理、重い荷物の持ち上げや持ち上げの繰り返し、長時間の立ち仕事、非常に反復的または強制的な組み立て作業など、肉体的に負担の大きい作業の危険に労働者が晒される場合は、これを識別、評価、コントロールする必要があります。反復運動によるけがを軽減するための適切な自動化機械の使用も奨励されます。

衛生、食物、宿泊施設

労働者は、清潔なトイレ設備、飲料水と衛生的な食品の調理、貯蔵庫、食事施設を常に利用できなければなりません。サプライヤーが提供する労働者の宿泊施設は、清潔かつ安全に維持され、適切な脱出口、入浴とシャワー用の温水、適切な暖房と換気、合理的な個人の空間、および合理的な外出の自由が提供されなければなりません。

環境

サプライヤーは、環境に関して責任ある態度で業務を行い、公衆の健康と安全を守るために該当するすべての環境法を遵守するものとします。

公害の予防と資源削減

水やエネルギーを含むあらゆる種類の廃棄物は、調達時において、または製造方法の修正、保守と施設プロセス、材料の代用、保全、材料のリサイクルと再利用などの実践において、削減または除去する必要があります。

危険物

環境に排出されると有害となる化学物質やその他の物質は、安全な処理、移動、貯蔵、使用、リサイクルまたは再利用、廃棄を実施できよう、識別し、管理する必要があります。

廃水と固形の廃棄物

業務、産業プロセス、衛生施設から生成される廃水と固形の廃棄物は、排出または廃棄の前に、必要に応じて分類、監視、コントロール、処理する必要があります。

排気

業務から生成される揮発性有機薬品、エアロゾル、腐食剤、微粒子、オゾンを減少させる化学物質、燃焼副産物は、排出の前に、必要に応じて分類、監視、コントロール、処理する必要があります。

環境関連の許可と規制への準拠

サプライヤーは、現在必要なすべての環境関連の許可と登録を取得、維持、保持し、こうした許可の業務上および報告に関する要件に従う必要があります。

倫理と整合性

サプライヤーおよび次の層のサプライヤーは、社会的な責任を果たすため、倫理的に業務を行い、整合性を持って行動する必要があります。

紛争と無縁の鉱物調達

HTCは、中央アフリカ地域からの鉱物の調達を一切行わないことを方針としています。サプライヤーには、HTCの鉱物調達ポリシーに従い、紛争鉱物の使用を避けることが求められます。HTCは、責任ある鉱物調達を継続的に推進しており、サプライヤーは次の層のサプライヤーに対して紛争と無縁の調達ポリシーを伝える必要があります。参加者は、こうした鉱物の調達と流通課程にデューデリジェンスを実施し、顧客が要求した場合は、デューデリジェンス手段を顧客に開示するものとします。

ビジネスの整合性

サプライヤーは、形態を問わず、腐敗行為、強要、着服を行わず、こうした行為を容認しないものとします。適合性を確保するため、監視および実装手段を導入するものとします。金品や優遇措置など、不当または不適切な便宜を得るための賄賂やその他の手段を提供したり、受けたりすることはできません。サプライヤーは、HTCの従業員に対し、贈り物や、サプライヤーとの関係から生じるその他の種類の個人利得を提供することはできません。

情報の開示

事業活動、財務状況、成績に関する情報は、該当する法律や一般的な業界の慣行に基づいて開示されます。

プライバシーと知的財産権

プライバシーと知的財産権は尊重されます。サプライヤーは、機密情報を守り、これを適切な方法でのみ使用し、すべての従業員、顧客、ビジネスパートナーのプライバシーと有効な知的財産権が保護されるように配慮します。

公正なビジネスと競争

サプライヤーは、すべての法律と規制を含め、公正なビジネス、広告、競争に関するすべての基準を守るものとします。顧客情報を守るための適切な手段を使用する必要があります。

アイデンティティの保護

サプライヤーと従業員の公益通報者の秘密保持と保護を確保するプログラムを導入するものとします。¹

管理システム

サプライヤーは、該当するすべての法律への準拠を促進し、本規範に規定された期待に関して継続的な改善を推進するため、管理システムを実装する必要があります。

法律と規制の要件

サプライヤーは、品質、健康、安全、環境に関して、該当するすべての規制を順守するものとします。必要なすべての許可、ライセンス、登録を取得・保持し、最新に保つ必要があります。サプライヤーは、業務とレポートの要件を満たさなければなりません。

¹ 公益通報者の定義: 雇用主または企業の役員による不適切な行動を開示するすべての人。

リスク評価とリスク管理

サプライヤーは、その業務に関連する、環境、健康、安全、労務慣習、倫理のリスクを識別するためのプロセスを導入するものとします。各リスクの相対的な重要度の決定と、識別されたリスクをコントロールする適切な手続き的・物理的制御を行い、法的な準拠を確実なものにします。

取り組みと説明責任

サプライヤーは、適切なリソースを割り当てることで、本規範に規定されたすべての期待を実現する必要があります。サプライヤーは、本規範に規定された原則を、そのサプライチェーンに伝えるものとします。

継続的な改善

サプライヤーは、本規範が要求する労務、健康、安全、環境の基準を遵守するため、適切な手段を実装して、持続可能性のパフォーマンスを継続的に改善することが求められます。

監査と評価

サプライヤーは、法的および規制的な要件、本規範の内容、社会的・環境的責任に関するその他の契約上の要件に準拠していることを確認するため、定期的な自己評価を行うものとします。

修正アクション プロセス

サプライヤーは、HTC の評価、査察、調査、検査によって識別された不備を迅速に修正するプロセスを用意するものとします。

文書化と記録

サプライヤーは、プライバシーを保護する適切な機密性を確保した上で、規制や本規範への準拠を確実なものにするため、文書と記録を作成・維持する継続的なプロセスを導入するものとします。

サプライヤーの責任

サプライヤーは、本規範の要件を次の層のサプライヤーに伝え、こうしたサプライヤーが本規範と該当するすべての法律と規制に準拠していることを監督するためのプロセスを導入するものとします。

参照

HTC は、本規範の作成にあたって以下の文書を参照しました。

Electronic Industry Citizenship Coalition (EICC) 電子業界行動規範

www.eicc.info/

国際労働基準 (ILO)

www.ilo.org/public/english/standards/norm/whatare/fundam/index.htm.ilo.org

安全と健康に関する ILO 実務指針

www.ilo.org/public/english/protection/safework/cops/english/download/e000013.pdf

多国籍企業のための OECD ガイドライン

www.oecd.org

国際連合汚職防止条約

www.unodc.org/unodc/en/crime_convention_corruption.html

国際連合グローバル コンパクト

www.unglobalcompact.org

国際連合世界人権宣言

www.un.org/en/documents/udhr/index.shtml